

平成 29 年度

適性検査 I

注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 検査問題は、【問 1】から【問 4】まであり、問題冊子の 2～11 ページに印刷されています。
- 3 問題冊子とは別に、2 枚の解答用紙（解答用紙①は【問 1】から【問 3】用、解答用紙②は【問 4】用）があります。解答は、すべて解答用紙の の中に書きましょう。
- 4 検査が始まってから、印刷がはっきりしないところや、ページが足りないところがあれば、静かに手をあげてください。
- 5 下書きなどが必要なときは、問題冊子のあいているところを使いましょう。
- 6 字数を指定された解答については、句読点（。、）や、かぎかっこ（「 」『 』）なども 1 字に数えて答えましょう。
- 7 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きましょう。
- 8 2 枚の解答用紙それぞれに氏名、受検番号をまちがいのないように書きましょう。

【問1】 杏さんは、学校で自然災害について学び、いざというときの備えについて家で考えました。各問いに答えなさい。

- (1) 杏さんは、非常持ち出しぶくろについて、お父さんと話しています。そこで感じた疑問について調べたところ、資料1を見つけました。そして、資料1を参考に、考えたことをまとめました。

お父さんとの会話1

杏：大きな地震が起こったら、どんなことに困るのかな。
 父：当たり前だと思っていることが、当たり前ではなくなるよ。避難するとき、生きていくために最低限必要なものを持ち出したいね。
 杏：非常持ち出しぶくろに、何を入れておけばいいのかな。

資料1 地震の体験談

1 わが家では、電気やガスが止まり、暖房器具が使えませんでした。寒く、真っ暗な一夜を過ごしました。	2 水道の蛇口をひねっても、何も出ませんでした。のどがかわいて困りました。
3 地震があった日に、店の食品はすべて売り切れていました。道路が使えなかったため、店にはしばらくの間、食品が届きませんでした。また、家には、電気やガスなどを使わずに食べられるものが、ほとんどありませんでした。	4 停電したので、すぐに携帯電話で情報を集めました。電話もしたので電池が切れませんでした。充電ができず、翌日には使えなくなりました。テレビもつかなくて、情報が入りませんでした。

考えたこと

参考にした資料 (資料1)	非常持ち出しぶくろ に入れておくもの	必要な理由
1	A	明かりを確保するため。まわりを見るため。
	防寒具、毛布	体を B ため。
2	C	飲むため。調理に使うため。
3	a 非常食	食べるため。食料を確保しておくため。
4	D	地震の情報を得るため。

- ① A ~ C に入るふさわしい言葉を書きなさい。
 ② 非常持ち出しぶくろに入れておくものとして、D に入る最もふさわしいものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

[ア 新聞 イ 小型ラジオ ウ 携帯電話 エ ノートパソコン]

- ③ 杏さんは、下線部 a の具体的なものとして「ビスケット」を考えました。杏さんが考えた「ビスケット」は非常食として適切なものの1つです。適切である理由を、資料1と考えたことの内容をもとに、2つ書きなさい。

(2) 非常持ち出しぶくろについて考えた杏さんは、さらに、お父さんと大雨のときの避難について話しています。

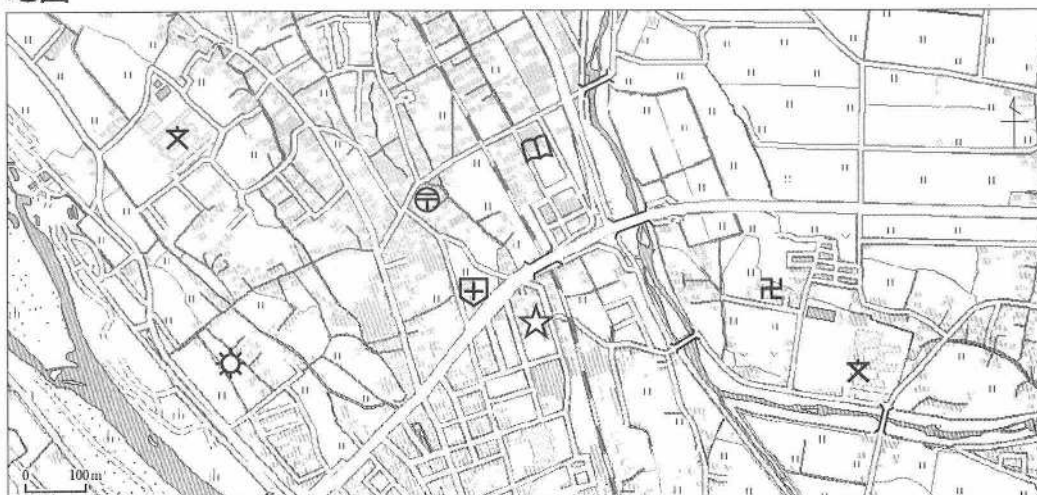
お父さんとの会話 2

杏：わたしの家の近くにある川の水があふれたら大変だね。
 父：そうだね。大雨のときの避難について考えておく必要があるね。
 地図と**こう水ハザードマップ**を見よう。例えば、**地図**にある **E** は
 ***浸水**の深さの予想が0.5 m未満の場所に建てられているよ。
 杏：そこは、避難場所になっているね。避難する場合の経路を ← のように考
 えると、**こう水ハザードマップ**では**い**の方が家から近いけれど、浸水が
 心配なときは**あ**の方に避難した方がいいね。

*浸水…水につかること

- ① **E** に当てはまる言葉を表す**地図記号**を書きなさい。
- ② 杏さんが考えた下線部**b**は、適切な判断です。その理由を、**こう水ハザードマップ**をもとに、20字以上30字以内で書きなさい。ただし、杏さんの家の位置は☆で表します。

地図



こう水ハザードマップ (「想定し得る最大規模の降雨」による浸水想定区域と浸水の深さ)



【問2】 保健委員会では、委員長の愛さんが提案した議題「かぜ予防のために、手洗いの大切さを呼びかける全校集会の内容を考えよう」について、話し合い1～3をしています。各問いに答えなさい。

話し合い1

聡：話し合いを始めます。愛さん、提案理由の確認をお願いします。

愛：はい。手洗い調べをしたら、手洗いをする人がまだ少なかったので、もっと手洗いの大切さを伝えたいと思ったことが提案理由です。

聡：では、手洗いの効果について調べてきてもらった資料を使って、伝える内容とわかりやすく伝える方法を考えましょう。

恵：わたしが調べた資料1を見てください。わたしたちは、ただ手洗いをすれば病原体を洗い流せると思いがちですが、手の洗い方のちが_αいによって、手に残っている病原体の数_βがちがうのです。このことを説明すれば、手洗いの効果が伝わるとおもいます。

資料1 手の洗い方と手に残っている*病原体の数

手の洗い方	手に残っている病原体の数
㉞ 洗わない	約100万個
㉟ 流水で15秒洗う	約1万個
㊱ 石けんで洗い、流水で15秒すすぐ	約100個

(国立医薬品食品衛生研究所資料を参考に作成)

望：わたしも恵さんにさんせいです。ただ、資料1をこのまま見せて説明しただけでは、全校のみなさんには伝わりにくいと思います。

聡：伝わりにくいと思う理由を、具体的に教えてください。

望：手の洗い方によって **A** の数が変わるけど、数字が大きすぎてちがいが伝わりにくいと思うからです。それに、㊱が最も **B** 的な手の洗い方だということが伝わりにくいと思います。

恵：それなら、資料1を棒グラフで表すのはどうですか。

卓：恵さんにさんせいです。棒グラフにすれば、手の洗い方のちがいによって、手に残る病原体の数が変わることが伝わりやすいと思います。


*病原体…病気の原因となるウイルスや細菌など

- (1) 下線部αについて、資料1から判断して、手に残っている病原体の数にちがいが出る手の洗い方のちがいを2つ書きなさい。
- (2) **A** , **B** に当てはまる言葉を、話し合い1や資料1からぬき出して書きなさい。

話し合い2

望：資料1をグラフで表すと右のようになり、
C ので、石けんを使わなくてもよいと思われてしまいそうで心配です。

卓：①と⑤の洗い方で手に残っている病原体の数を「約 10000 個，約 100 個」と表せば，⑤の洗い方の方が①の洗い方より効果があることが伝わると思います。

聡：確かに，グラフではなく， のようにして見せた方が伝わりやすいですね。

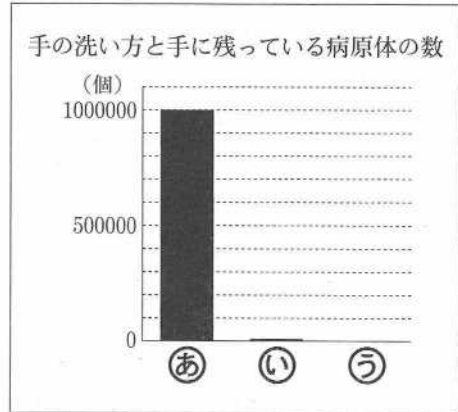
恵：つけたして，b 病原体は見えないので，⑤の洗い方で病原体が減ることが見てわかる資料も必要だと思います。

望：恵さんにさんせいです。それなら，保健室の前に掲示してある保健新聞の写真やイラストを使えばよいと思います。

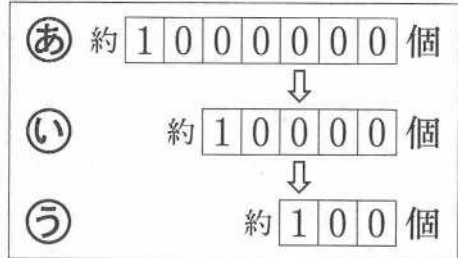
愛：望さん，保健新聞のどの写真やイラストがよいですか。

望：わたしは D がよいと思います。これなら E ことが目で見てわかるので伝わりやすいと思うからです。

グラフ



図



(3) C に入るふさわしい言葉を，20 字以上 30 字以内で書きなさい。

(4) 望さんは，下線部 b についてふさわしい資料を考えています。

① D に当てはまるものを，話し合い2の内容から判断して，次のア～ウから1つ選び，記号を書きなさい。

ア

よごれが残りやすいところ
 指先 つめと皮ふの間
 手のしわ
 親指のつけ根 手首

イ

手についている病原体(白い部分)

洗う前 水だけで洗った後 石けんで洗った後

ウ

病原体の例

インフルエンザウイルス はしかのウイルス

② E に入るふさわしい言葉を，15 字以上 25 字以内で書きなさい。

話し合い 3

卓：さらに発表につけ加えたいことがあります。ぼくは、資料2を見つけました。この資料を使って、どんなときに手洗いをするとよいか伝えることも大切だと思います。

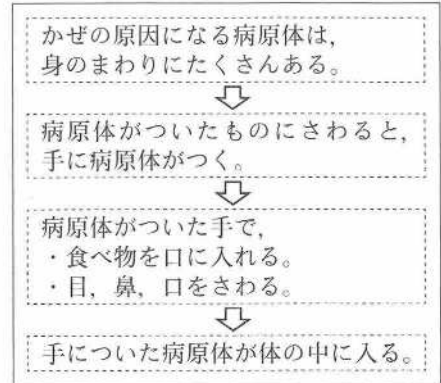
恵：卓さんにさんせいです。資料2を低学年のみなさんにもわかるようにまとめ直したものを見せながら、全校のみなさんに手洗いが必要なときを考えてもらうのはどうでしょうか。

望：恵さんの意見にさんせいです。そうすれば、いつ手を洗えばよいか全校のみなさんに伝わるとおもいます。

愛：手洗いの大切さがよりわかりやすく伝わりそうですね。では、「手洗いが必要なとき」ということもふくめて、全校集会で発表しましょう。

聡：記録係は、今日の話し合いで決まったことを発表してください。

資料2 (表題)



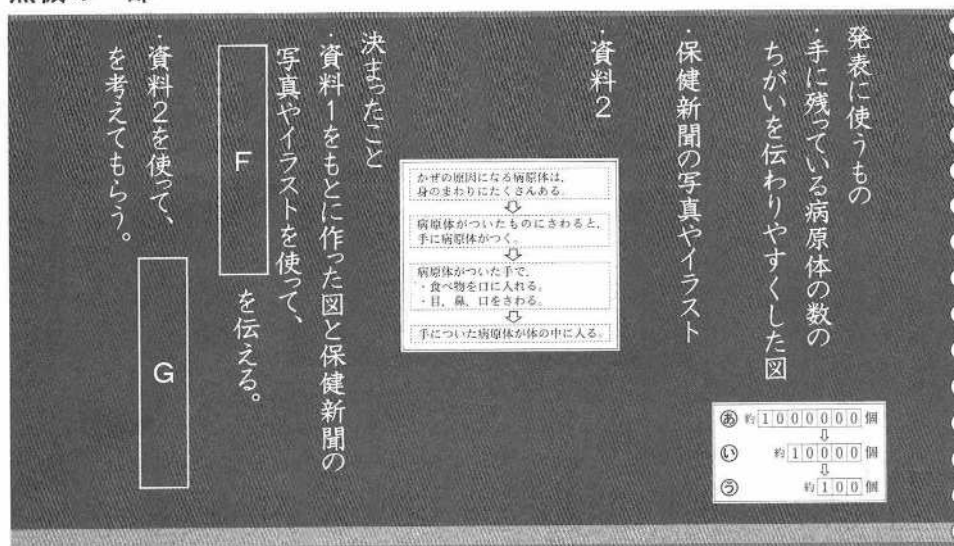
(厚生労働省資料を参考に作成)

(5) 資料2の表題としてふさわしいものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

- | | | | |
|---|-------------|---|-------------------------------|
| ア | 手から入る病原体の種類 | イ | 病原体によって起こる病気 |
| ウ | 洗うときの手の動かし方 | エ | 病原体が手から体に入る道筋 ^{みちすじ} |

(6) 記録係は、「発表に使うもの」と「決まったこと」を、黒板の一部のようにまとめました。FとGに入るふさわしい言葉を、話し合い1～3の中の言葉を使って9字以上15字以内で書きなさい。

黒板の一部



【問3】 亮さんは、ニュースで長野県が「1人1日当たりのごみ排出量が少ない都道府県日本一」になったということを知りました。各問いに答えなさい。

(1) 亮さんは、長野県のごみに関する資料1、2を見つけ、お母さんと話しています。

資料1

平成26年度1人1日当たりのごみ排出量が少ない都道府県

順位	都道府県名	ごみ排出量
1位	長野県	838g
2位	沖縄県	844g
3位	熊本県	846g
全国平均		947g

資料2

チャレンジ800ごみ減量推進事業

長野県では、県民、市町村のみならず「1人1日当たりごみ排出量800g以下」を目指し、ごみの減量に取り組んでいます。気軽にできるごみの減量に取り組みましょう。

(資料1、2 長野県環境部資源循環推進課資料より作成)

お母さんとの会話1

亮：長野県は、県民1人1日当たりのごみ排出量が **A** と比べて109gも少なく、日本一になったんだよ。

母：日本一になるなんて、うれしいね。そういえば、最近他県のX市からとなりの家に引っ越してきた方が、わたしたちが住んでいるY市のごみの捨て方は、X市のごみの捨て方と大きくちがっていることに、おどろいていたよ。

亮：X市とY市では、ごみの捨て方にどんなちがいがあんの。

母：こんなことを話していたよ。

資料3 となりの家の方の話

前に住んでいたX市では、指定のごみぶくろはありませんでした。可燃ごみも不燃ごみもレジぶくろなどに入れて捨てていました。しかし、こちらのY市は、指定された有料のごみぶくろを使い、そのぶくろの値段には、ごみ処理にかかるお金が上乗せされています。それに、ごみと資源物とを細かく分別して出す必要があります。ごみを減らそうと自然に考えるようになりました。

亮：となりの家の方の話を聞くと、 **B** や **C** が、ごみを減らす意識を高めていたといえそうだね。

母：こうして県内の市町村では、県民の意識を高め、少しずつごみを減らすことができてきたんだね。

亮：長野県では、さらに県民1人1日当たり **D** g以上のごみを減らすことを目指しているね。実際に、Y市のごみは、どのようなものがどれくらい出されているのかな。

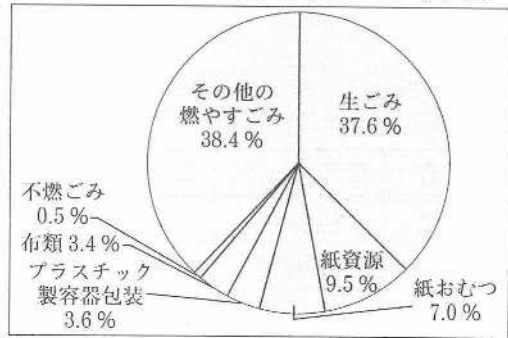
- ① **A** , **D** に当てはまる言葉や数を書きなさい。
 ② **B** , **C** に当てはまる内容を、資料3の中の言葉を使って書きなさい。

(2) 亮さんは、Y市で出されたごみについて調べ、資料4についてお母さんと話しています。

お母さんとの会話2

亮：生ごみの重さは、全体の約4割^{わり}になっているね。
 母：毎日料理をしていると、生ごみが本当にたくさん出るのよ。
 亮：生ごみの重さって、もっと減らせるんじゃないかな。

資料4 燃やすごみとして出されたごみの重さの割合 (Y市)



① 亮さんは、下線部 a についてお母さんといっしょに生ごみの重さを減らすために工夫し、表にしました。その工夫として当てはまらないものを、下のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

表

工夫	材料を使い切る	皮をうすくむく	生ごみをしぼる
工夫する前の重さ (g) ↓	36g ↓ 	55g ↓ 	195g ↓
工夫したあとの重さ (g)	1g (へたの部分)	40g	155g

- ア 生ごみをしぼって水分をとり、軽くする。
- イ 料理を作るときに、食材を使い切る。
- ウ 野菜のへたや皮を集めて、生ごみとして出す。
- エ 野菜の皮をうすくむき、捨てる部分を減らす。

② 亮さんは、生ごみの重さを減らすために工夫したあと、お母さんと話しています。亮さんが下線部 b のように言っている理由を、お母さんとの会話3、資料5、6をもとに35字以上45字以内で書きなさい。

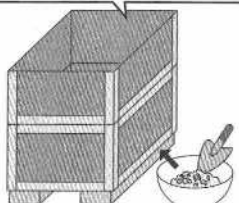
お母さんとの会話3

亮：今日1日で90gも生ごみの重さが減ったなんてすごいね。
 母：うちは5人家族だから、1人あたりでは18g減ったことになるよ。
 亮：ちょっとした心がけでずいぶんちがうね。さらに生ごみを減らす工夫はあるのかな。
 母：となりのZ市では、資料5や、資料6のような取り組みをしているよ。これなら、うちの庭の野菜や花にも使えるね。
 亮：生ごみを出さない工夫が、b 取り組んでいる人の家にとっても、よいことにつながるね。ぼくの家でもダンボールコンポストを作りたいな。

資料5 市がすすめるダンボールコンポストのチラシ（Z市）

ダンボール箱を使って生ごみを肥料にしてみよう!

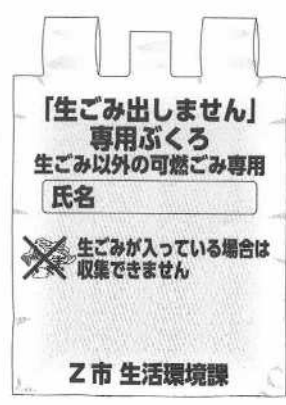
腐葉土を1ふくろ300円で販売していたものを100円に値下げしました。



- ・みかん箱くらいの大きさのダンボール箱を組み立てます。
- ・腐葉土などを入れ、微生物の働きで生ごみを分解します。
- ・生ごみの水をしぼり、細かくして入れます。
- ・1日に生ごみを約500g入れられます。
- ・4か月後には肥料になります。

資料6 「生ごみ出しません」専用ふくろの取り組み（Z市）

- ・生ごみ以外の可燃ごみを入れる専用ふくろを無料配布。
- ・自分の家で生ごみを処理しごみふくろでは出さない家が対象。



「生ごみ出しません」専用ふくろ
生ごみ以外の可燃ごみ専用
氏名
生ごみが入っている場合は収集できません
Z市 生活環境課

③ 亮さんは、さらに資料4を見て、気づいたことと考えたことをまとめました。Eには当てはまる整数を、Fには当てはまる言葉を書きなさい。また、Gには最もふさわしいものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

【 ア 使い捨て イ 使い古し ウ 使い分け エ 使いこなし 】

気づいたことと考えたこと

- ・燃やすごみとして出されたごみの中に、資源物である紙資源やプラスチック製容器包装が混ざって出されている。これは、全体のE割以上になっている。分別の意識をさらに高めていく必要がある。
- ・その他の燃やすごみ以外では、Fが3番目に多いけれど、減らすことは難しいと思う。
- ・紙コップやわりばしなどのようなG製品を必要以上に使用しないことも、ごみを減らすために大事なことではないか。

(3) 亮さんは、自分の家でもできるごみを減らす取り組みをまとめました。亮さんが考えた取り組みⅠ、Ⅱで、共通している考え方の□に入るふさわしい言葉を書きなさい。

亮さんが考えたごみを減らす取り組み		共通している考え方
<p>【取り組みⅠ】 テーブルの上で、水をこぼしたときに、ティッシュペーパーでふくことが多かった。これからは、台ふきんを使う。</p>	<p>【取り組みⅡ】 ハンドソープやシャンプーを使い終わったあとは、つめかえ用の商品を買ひ、ボトルは使い続ける。</p>	<p>この2つの取り組みは、台ふきんやボトルのように、 □ ごみを減らそうと考えた。</p>

【問4】 次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

※まとう…身につける
※モラル…自分の良心によって、よいことを行い、悪いことを行わないこと

(本田 健 著「読書で自分を高める」)

著作権法に基づき、
公開しません。

条件

- ・二段落構成としなさい。
- ・一段落目には、自分の気持ちを別の知っている言葉で言いかえることで、より自分の気持ちを表現して理解できた体験を書きなさい。そのとき、言いかえる前の言葉と、言いかえたあとの言葉を、「」を使って書きなさい。ただし、本文にある言葉はのぞきます。
- ・二段落目には、一段落目に書いた体験から今後あなたが大切にしていきたいと考えたことを、筆者の考えと関係づけて書きなさい。
- ・文字数は、一六〇字以上二〇〇字以内として、一行目から文章を書くこと。また、句読点が行の最初にくる場合は、前の行の最後のます目に文字といっしょに書くこと。なお、書き出しや段落を変えたときの空白になるます目も一字に数えます。

(下書き用のます目は、12ページにあります。)

著作権法に基づき、
公開しません。

(1) ①「アクティブ・ボキャブラリー」と②「パッシブ・ボキャブラリー」とは、それぞれのよう
な言葉だと、筆者は考えていますか。最もふさわ
しいものを、それぞれ次のア～エから一つずつ選
び、記号を書きなさい。

- | | |
|---|------------------|
| ア | ふだん使わないが理解はできる言葉 |
| イ | 難しくないが受け身と感ずる言葉 |
| ウ | 奥行きがある言葉 |
| エ | ふだん使う言葉 |

(2) ③「呵責」の意味を、漢字辞典を使って調べ
ようと思います。「絵画さくいん」「部首さくいん」「音
訓さくいん」の三つのさくいんから、使うさくいん
を一つ選び、具体的な引き方を書きなさい。どのさ
くいんを選んでもかまいません。

(3) ④「言葉を知っていることで、自分のことが理
解できるようになる」について、次の条件にした
がって、自分の体験と考えを書きなさい。

これより先に問題はありませぬ。
下書きなどが必要なときに、自由に使ってください。

〔下のます目は【問4】(3)の下書き用です。使っても使わなくてもかま
いません。解答は、解答用紙②に書きましょう。〕

200字

160字